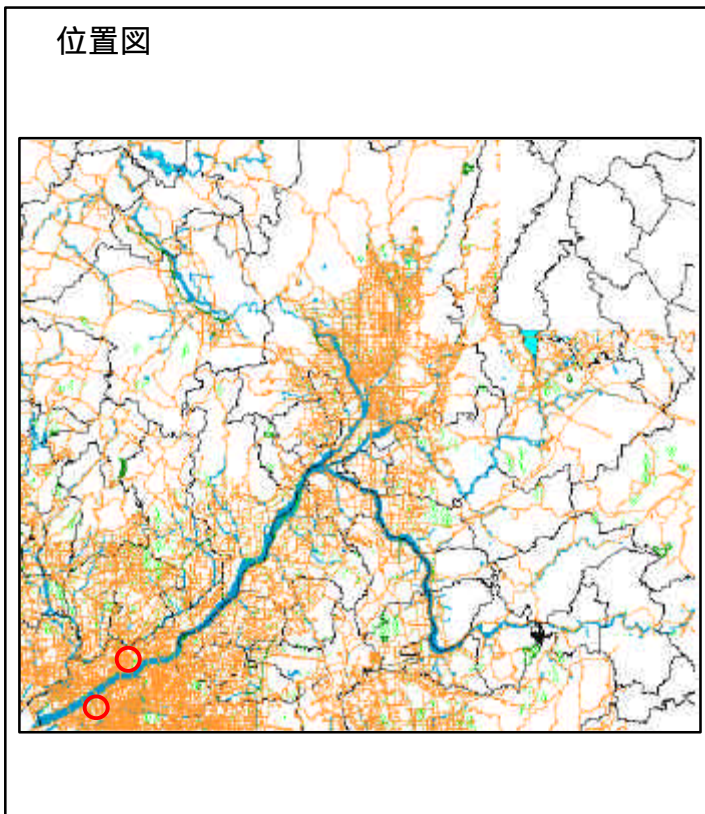


説明資料(第2稿)での記載箇所	章項目	5.3.3	ページ	p.41	行	16行目
事業名	緊急用船着場事業		河川名	淀川		
府県	大阪府	市町村	大阪市福島区 大阪市東淀川区	地先	海老江 柴島	

**現状の課題**  
 兵庫県南部地震時には、建物の崩壊等により陸上交通が混乱し、負傷者の輸送や復旧作業のための資材輸送等に支障を生じたことから、震災時の緊急輸送を目的として淀川の船着場の整備とあわせて、河川敷内に緊急用河川敷道路を整備してきたところであるが、淀川大堰から三川合流点までの区間で連続的に通行できない区間(約5km)がある。

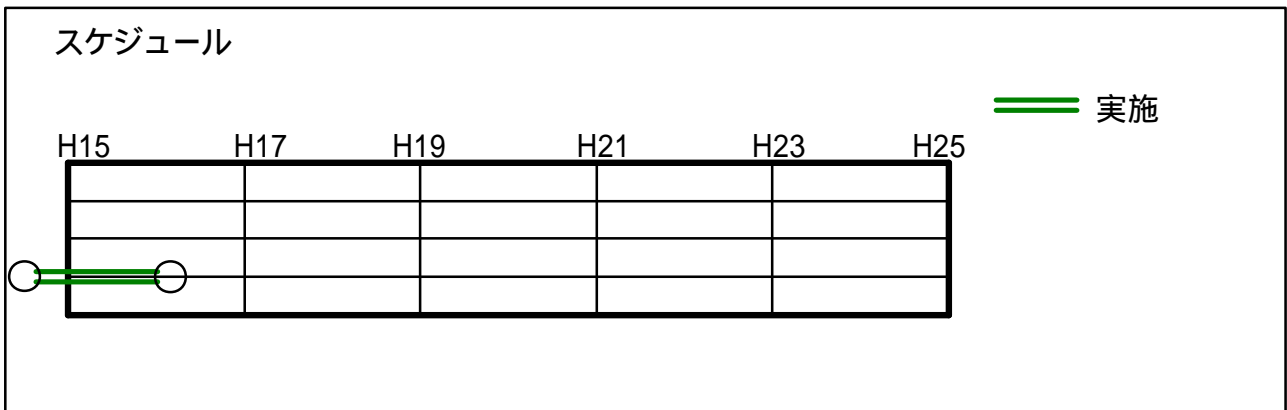
**河川整備の方針**  
 河川管理施設被災時の早期復旧や緊急物資輸送等の手段として緊急用河川敷道路及び船着場の整備を行ってきたが、未整備の箇所については早期に完成させる。



**具体的な整備内容**  
 緊急用船着場  
 ・現在、整備中の海老江、柴島地区の船着場については継続実施する。

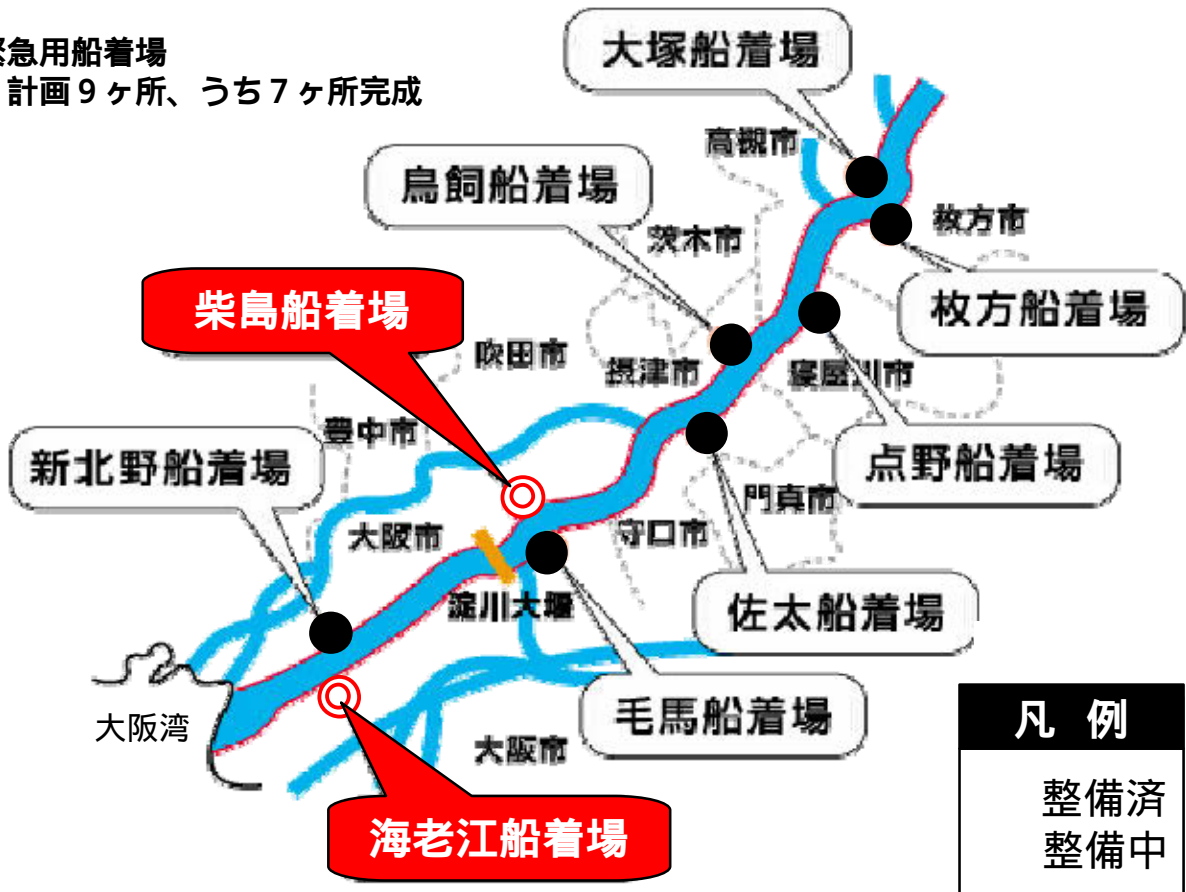
**事業の数量 諸元等 事業費**  
 ・海老江船着場  
 淀川左岸 4.9km付近  
 延長 L= 70m 喫水 H= 2m以上  
 ・全体事業費 約 7億円  
 ・うち執行済 約 1億円  
 ・うち整備計画期間内 約 6億円  
 ・うち整備計画期間以降 0円

**柴島船着場**  
 淀川右岸 10.3km付近  
 延長 L= 80m 喫水 H= 2m以上  
 ・全体事業費 約 2億円  
 ・うち執行済 約 1.6億円  
 ・うち整備計画期間内 約 0.4億円  
 ・うち整備計画期間以降 0円  
 ・平成 15年 7月に完成予定



平面図

緊急用船着場  
計画9ヶ所、うち7ヶ所完成



凡例	
○	整備済
●	整備中

イメージ写真



整備効果

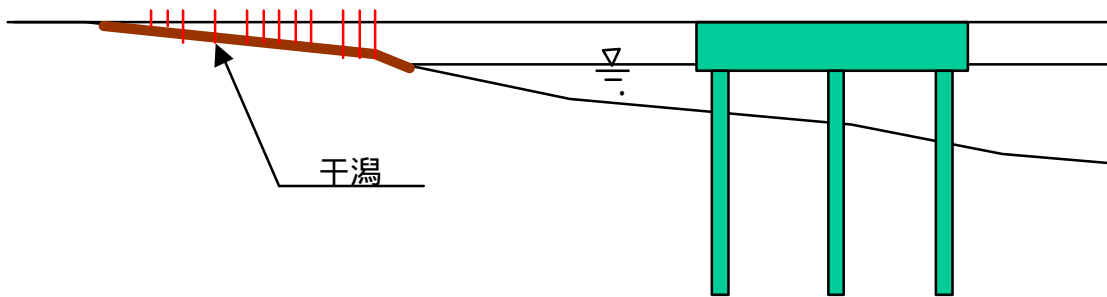
- ・大規模災害時に水上ル - トを活用した物資輸送が可能となる。
- ・海老江船着場は淀川から大阪駅周辺地区へ、柴島船着場は新大阪駅周辺地区へのル - トとなる。
- ・平常時は、環境学習船、調査船、観光船による利用が可能となる。

海老江船着場の特徴

**水際の環境を考慮**

- ・川の中へ張り出した構造により  
河岸の干潟及びヨシ群落の保全に考慮

淀川環境委員会の中で構造を検討

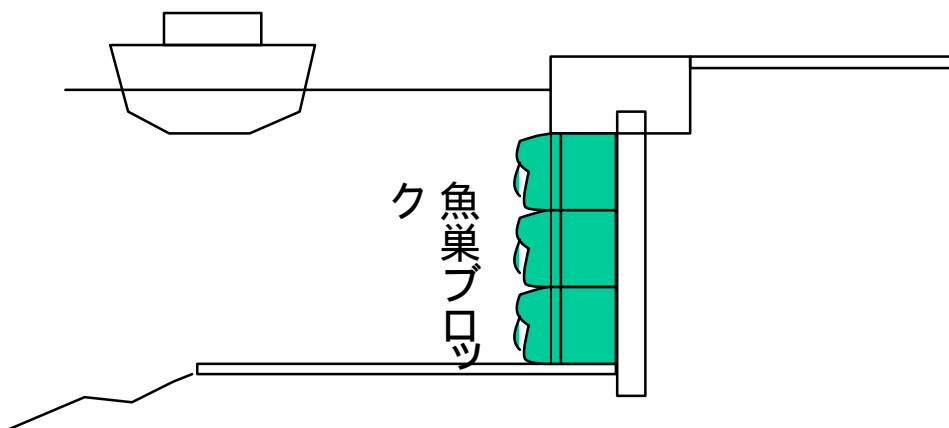


柴島船着場の特徴

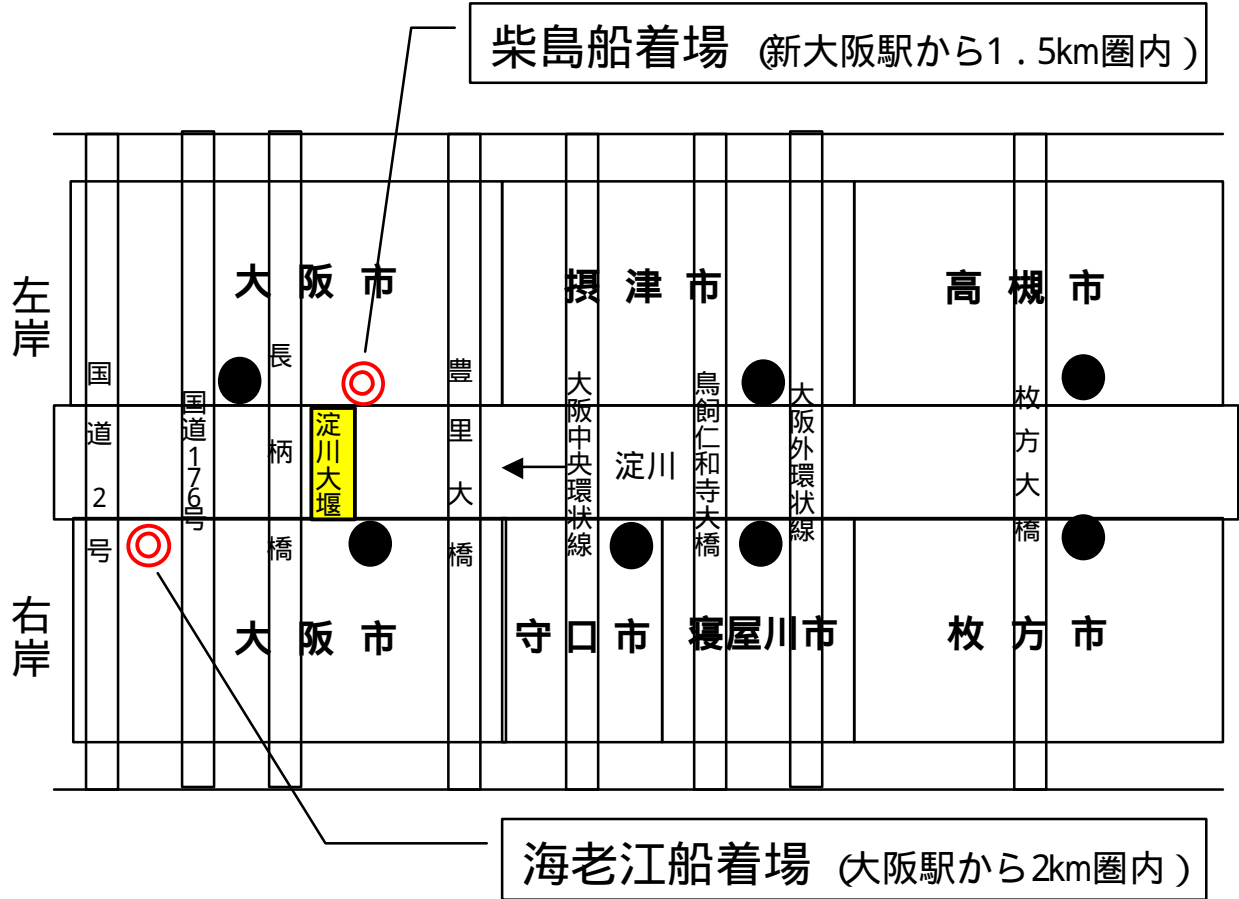
**環境を考慮**

- ・船着場前面に魚巣ブロックを設置し生物に考慮

淀川環境委員会の中で、構造を検討。



提案理由



**災害時に海陸両面からの輸送が可能**

